

研究に関する情報公開文書

研究課題名：心サルコイドーシスの診断における FDG-PET の有用性

1. 研究の対象

2020年03月31日までに当院で心臓サルコイドーシスの活動性評価目的に行うFDG-PET検査を受けられた方

2. 研究目的・方法・研究期間

(1) 研究目的・方法

サルコイドーシスは、全身のいろいろな臓器に肉芽腫(にくげしゅ)という炎症性の病変が生じて障害を起こす原因不明の病気です。肺や眼の病気として知られていますが、心臓にも肉芽腫ができて心臓のはたらきを邪魔することがあります。この病気に合併する不整脈(ふせいみやく)や心機能障害による症状が出現します。重篤な徐脈(じょみやく)性、もしくは頻脈(ひんみやく)性の不整脈のために、意識を失う発作を起こすことがあります。また、心筋の収縮力低下により心不全が生じると、息苦しさや動悸、むくみといった自覚症状がみられます。この病気にかかっているほとんどの患者さんで、心電図検査の異常がみられます。心臓サルコイドーシスが疑われる場合、胸部単純X線検査やCTで「両側肺門リンパ節腫脹(しゅちょう)」や「縦隔(じゅうかく)リンパ節腫脹」という肺サルコイドーシスに特徴的な所見の有無が診断の手掛かりになることがあります。心エコー検査でみられる「心室中隔基部(しんしつちゅうかくきぶ)の菲薄化(ひはくか)(薄くなること)」という所見は、この病気に特異的な異常所見です。

ガリウムシンチグラフィなどのラジオアイソトープ検査もこの病気の診断に有用ですし、必要のある場合はカテーテルを用いた心筋生検が行われます。不整脈の有無を調べるための24時間心電図検査も重要な検査です。

現在、心臓サルコイドーシスの検査として、FDG-PET 検査は注目を集めています。もともと、サルコイドーシスは全身疾患なので、サルコイドーシスの心臓以外の病変にもFDG は集積し、鮮明に描出されるので有用な検査と考えられています。そこで、今回の研究の目的は、通常のFDG-PET 検査で得られた、全身と心臓の両者の画像を観察し、比較検討することになりました。サルコイドーシスの診断精度を向上するため、頭部から足先まで撮像します。通常よりも約6分間撮像時間が長くなります。心臓の撮像には4分かかります。なお、この研究は大学の倫理審査を受け、学長の許可を得ています。

(2) 研究期間

倫理委員会承認後～2021年03月31日(予定)

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：検査画像、カルテ番号、年齢、性別、病歴、検査結果

4. 外部への試料・情報の提供

なし

5. 研究組織

研究責任者：	藤田保健衛生大学医学部	循環器内科学 I	准教授	皿井 正義
研究分担者：	藤田保健衛生大学医学部	放射線医学	教授	外山 宏
	藤田保健衛生大学医学部	放射線医学	助教	渡邊あゆみ
	藤田保健衛生大学医学部	循環器内科学 I	講師	河合 秀樹
	藤田保健衛生大学医学部	循環器内科学 I	助教	永原 康臣
	藤田保健衛生大学医学部	循環器内科学 I	助教	宮島 桂一
	藤田保健衛生大学医学部	循環器内科学 I	准教授	元山 貞子
	藤田保健衛生大学医学部	循環器内科学 I	教授	尾崎 行男

6. 除外の申出・お問い合わせ先

試料・情報が本研究に用いられることについて研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合には、研究対象から除外させていただきます。下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも、お申し出により、研究の対象となる方その他に不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

また、ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

藤田保健衛生大学医学部 循環器内科 I

担当者：皿井 正義(研究責任者)

愛知県豊明市沓掛町田楽ヶ窪1-98

電話：0562-93-2312 (医局)